



Title	A Study on Machine Learning-based Approaches for Personality Identification and Translation [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	RADISAVLJEVIC, Dusan
Citation	北海道大学. 博士(情報科学) 甲第15665号
Issue Date	2023-09-25
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/90830
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	theses (doctoral - abstract and summary of review)
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	Dusan_Radisavljevic_review.pdf (審査の要旨)



[Instructions for use](#)

学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称 博士 (情報科学) 氏名 Dusan RADISAVLJEVIC

審査担当者 主査 特任教授 荒木 健治
副査 特任教授 坂本 雄児
副査 教授 長谷山 美紀
副査 教授 土橋 宜典
副査 准教授 伊藤 敏彦

学位論文題名

A Study on Machine Learning-based Approaches for Personality Identification and Translation

(人格特性の識別と翻訳のための機械学習アプローチに関する研究)

本論文では、ソーシャルメディアの普及とチャットアプリの急速な発展により、オンライン空間でのコミュニケーションが増えている。このことによりテキストメッセージを通じたコミュニケーションが主流となり、テキストから相手の意図や感情を正しく解釈することがますます重要となっている。

このようなレベルのコミュニケーションを正確に理解して行うためには、文脈や親しみやすさが重要な要素であり、個人のパーソナリティも大きな影響を与える。パーソナリティは、行動、感情、認知のパターンに存在する個人差の総体である。そのため、パーソナリティはコミュニケーションにおいて不可欠な役割を果たしている。

パーソナリティを正しく理解し解釈することの重要性は、多くの研究者によって注目されてきた。近年、技術の進歩と新しい計算アルゴリズムの活用により、パーソナリティコンピューティングという研究分野が形成された。しかし、この分野はまだ新しいため、研究の比較が困難であり、データの入手も制約されている。

本論文では、異なる性格評価方法の接続の可能性を研究することが主な動機とされている。異なる性格診断法をうまく利用することで、利用可能なデータを増やすことができる。また、パーソナリティの理解とコミュニケーションへの反映を中心としたアプローチをとることで、標準化された評価手法の開発に貢献し、異なる研究成果間のパフォーマンスの違いを再現し解釈することが可能となる。

具体的には、対話者の識別を目的としたトランスフォーマーベースのアプローチが提案されている。このアプローチは、対話者のテキスト転写物のみを使用して高い識別精度を達成した。さらに、商用ビデオゲームのテキストトランスクリプトを利用した大規模なデータセットの取得に成功した。

また、ビッグファイブとマイヤーズ・ブリッグス・タイプ・インディケーターという2つの性格評価モデルとテキストの関係の調査を行った。このことにより、ビッグファイブの性格特性に関連する言語的特徴が明らかとなった。さらに、同様の特性がマイヤーズ・ブリッグス・タイプ・インディケーターにも存在する可能性が示唆された。

これを要するに、著者は、人間の性格の判定精度を向上させるために機械学習を用いることの有効性を確認したものであり、自然言語処理工学の発展に貢献するところ大なるものがある。よって著

者は,北海道大学博士(情報科学)の学位を授与される資格あるものと認める.